

ロイロノートスクール 応用講座



ロイロノートで何ができるの？



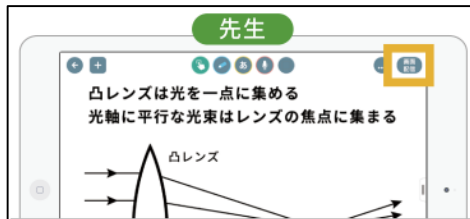
先生のiPadから、送った課題の回答を一括回収・共有したり、先生画面を配信したりすることができます。



授業で使用するカードを児童生徒に送る



先生から送られたカードを使って学習する



先生の画面を配信する



先生から配信された画面を見ながら学習する

今日の研修の進め方

みんなが同じ学校に入るように、研修用のIDでログインします。

【教材を作る時】

- ・ 全員、別紙「1. 先生としてのログイン情報」でログインして、教材作成をする

【問題を出し合う時】

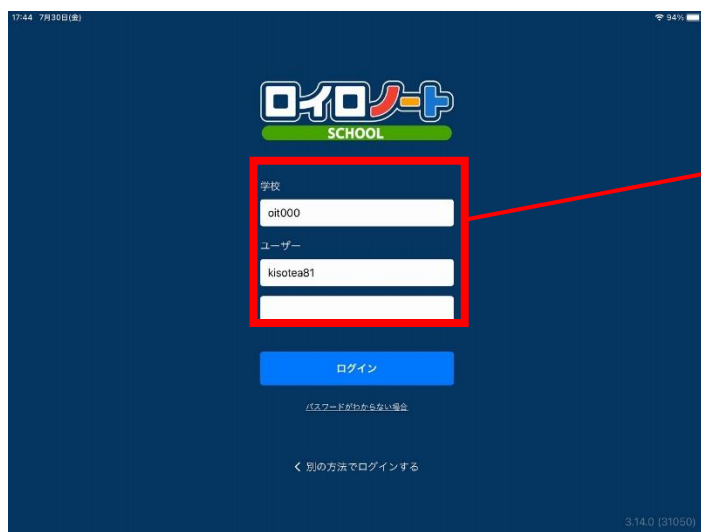
- ・ 1人は先生のまま。
- ・ 他の3人は、ログアウト後「3. 子どもとしてのログイン情報」でログインして**児童生徒役**になる
- ・ 先生役が問題配付 → 児童生徒役が解答・提出
- ・ 役割をチェンジして、同じことをする

授業の作り方① (先生)



① iPad 1 ページ目にある「SCHOOL」を起動し、「Royoro Noteでログイン」を選びます。

※学校ではMicrosoftでログインを選択してください。



② 「Royoro Note基礎 ログイン情報」の「1. 先生としてのログイン情報」を入力し、ログインします。

授業の作り方② (先生)

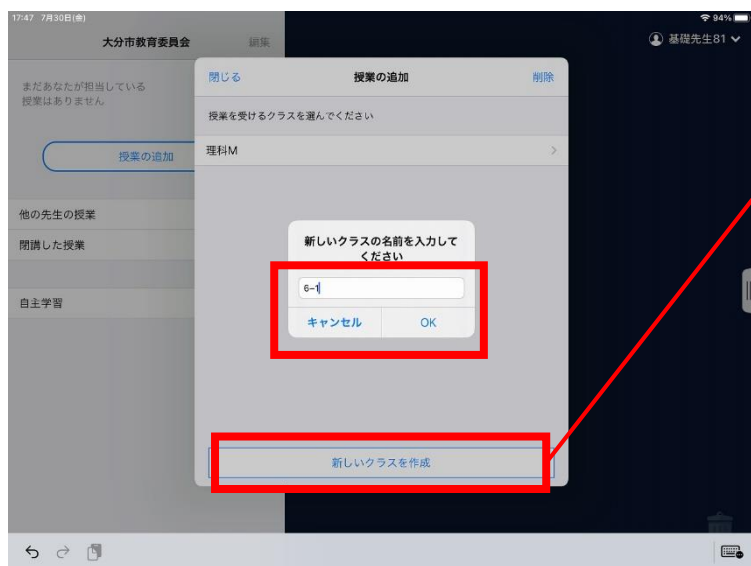


③最初の画面が表示されます。チュートリアル動画は、いつでも見ることが出来ますので、×で消してください。

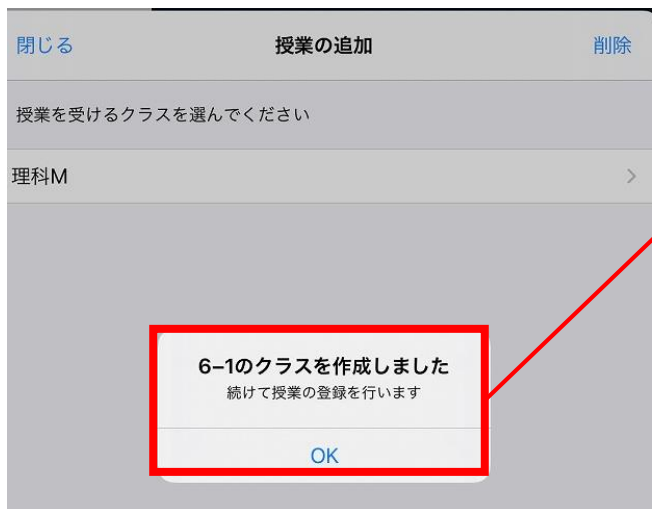
④「授業の追加」をタップ

⑤「新しいクラスを作成」をタップします。

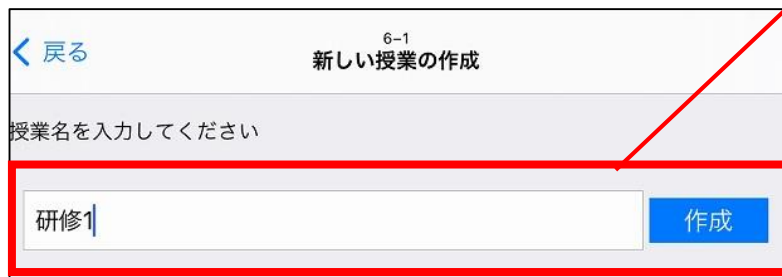
⑥資料の「2. クラス名等」に書かれているクラス名を入力してOKを押します。



授業の作り方③ (先生)



⑦クラスが作成できたことを確認して、「OK」をタップ

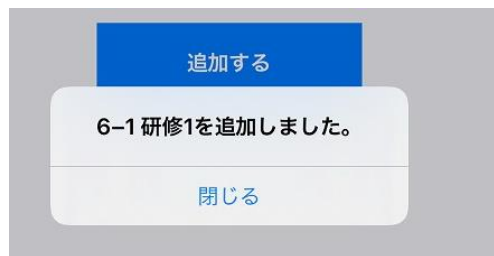


⑧資料の「2. クラス名等」に係れている授業名を入力して「作成」をタップ



⑨内容を確認して「追加する」をタップ

授業の作り方④ (先生)



⑩ クラスと授業が追加され「クラス参加コード」が表示されます。



⑪ 授業名（研修〇）をタップします

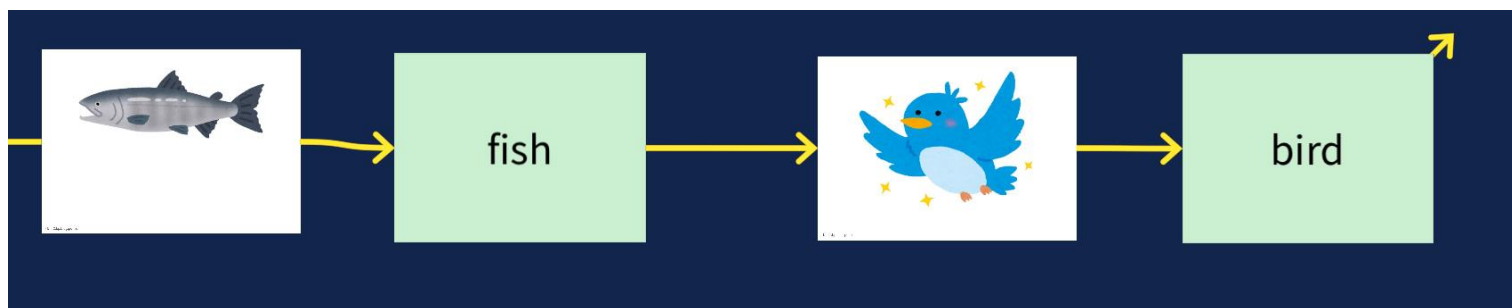


⑫ ノートを新規作成をタップ

⑬ ノートの名前は変えなくてOK。「決定」をタップします



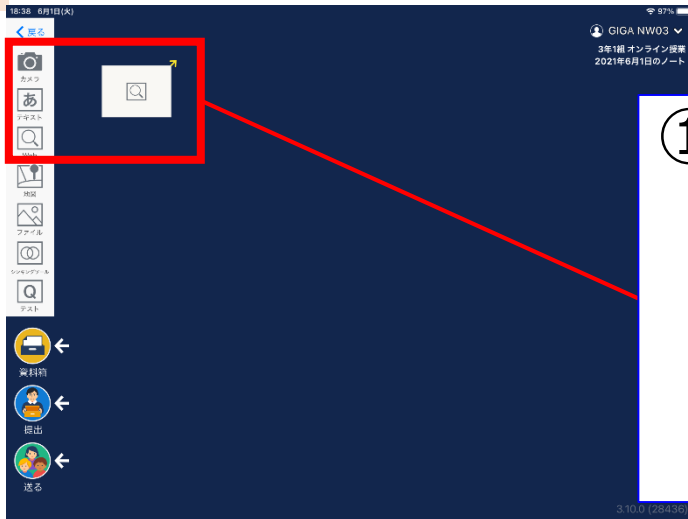
フラッシュカードを作ってみよう！



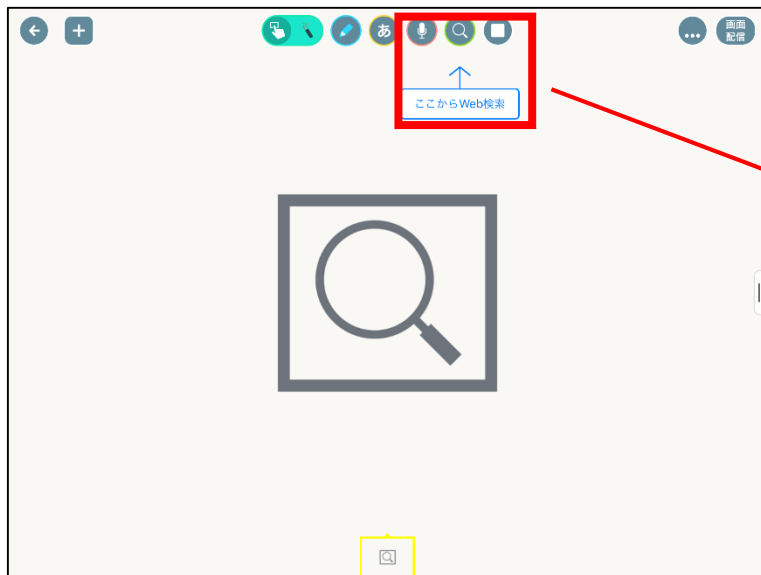
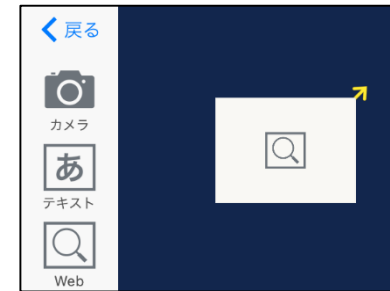
ロイノートを使うと、
音声入りのフラッシュカードが
簡単に作れます。



フラッシュカード①



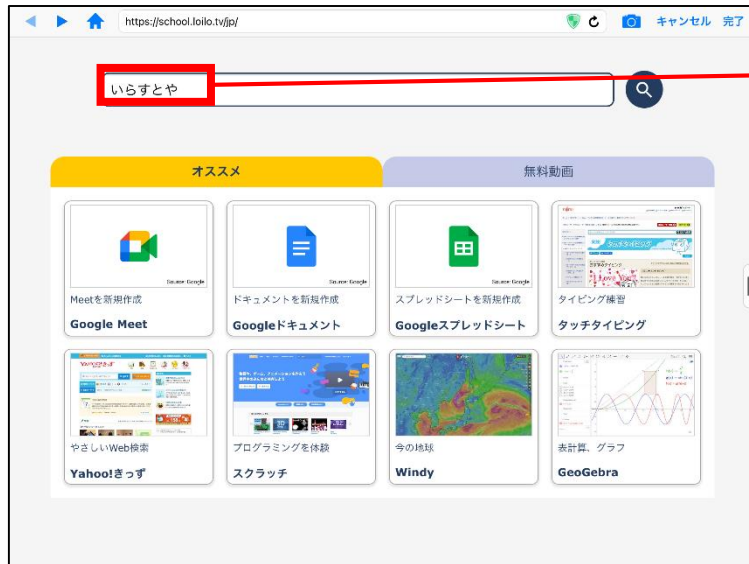
①今回は、カードに使うイラストをネットからダウンロードするので、画面左の「web」を押します。



②インターネット上の画像等を貼り付けられるカードができました。画面上部の「虫メガネ」を押します



フラッシュカード②

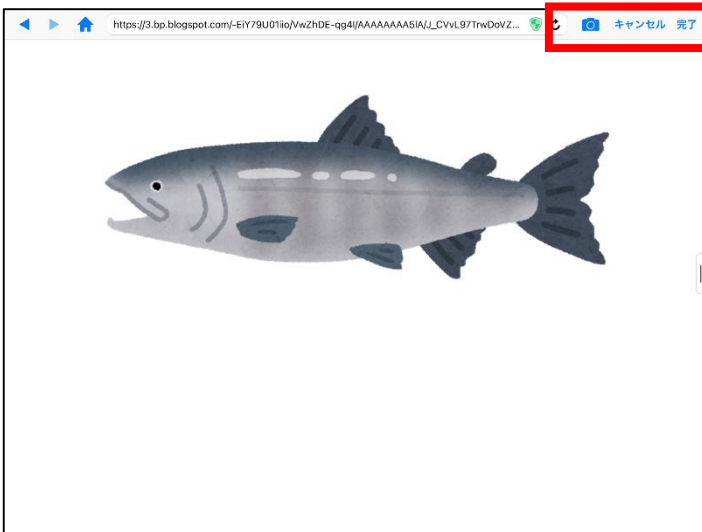


③検索ワードを入力します。
※今回は、「いらすとや」のイラスト
を使います。

<https://www.irasutoya.com>

かわいいフリー素材集 いらすとや

いらすとやは季節のイベント・動物・子供などのかわいいイラストが沢山見つかるフリー素材サイトです。



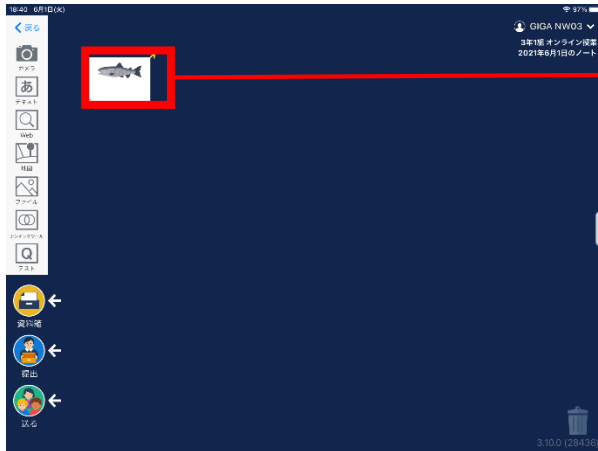
④カードに貼り付けたいイラスト
が決まったら、画面右上の
「完了」を押します。



キャンセル 完了

フラッシュカード③

⑤ イラストが貼り付けられたカードができました。カードをタッチすると大きく表示されます。

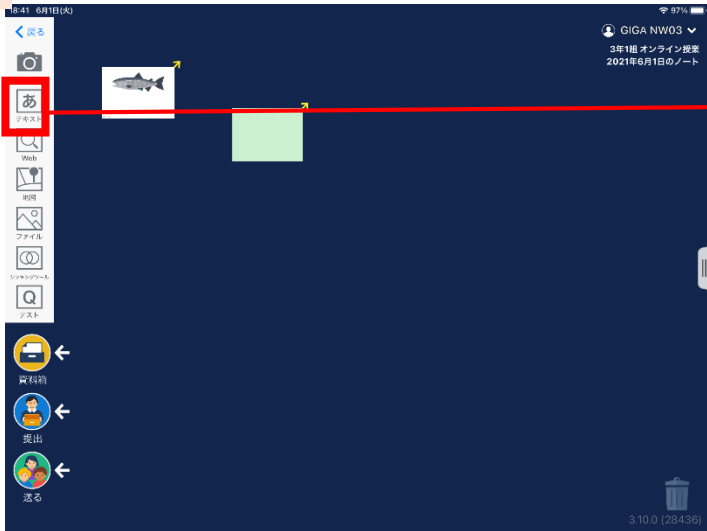


⑥ フラッシュカードですので、カードを再生する時間を設定します。

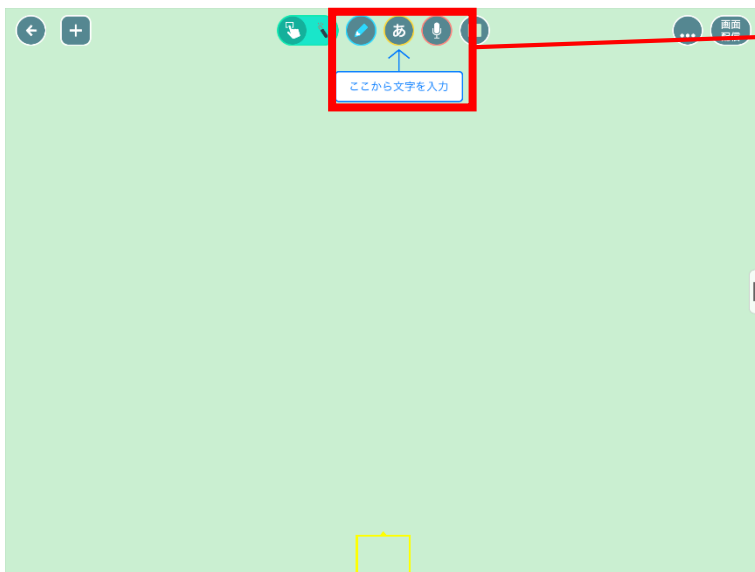
画面上部の「録音」を押し、右に表示されるタイマーの時間を調整します。



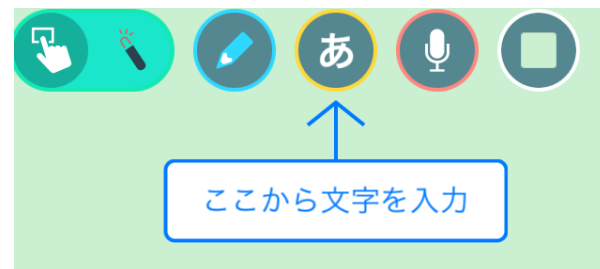
フラッシュカード④



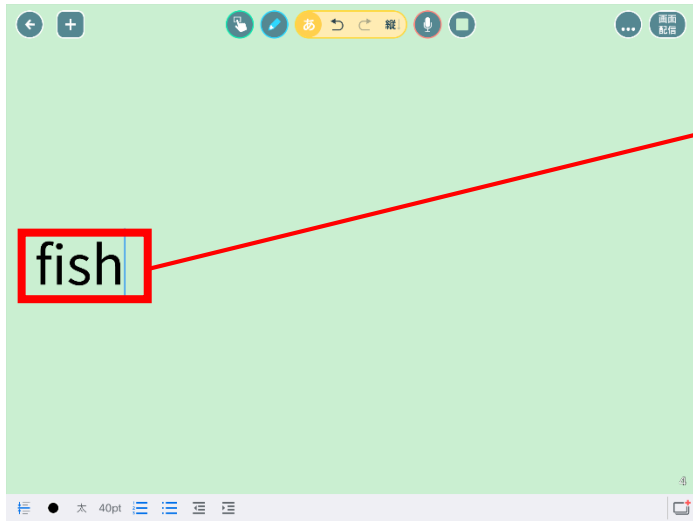
⑦次に、フラッシュカードの文字カードを作ります。画面左の「テキスト」をタップします。



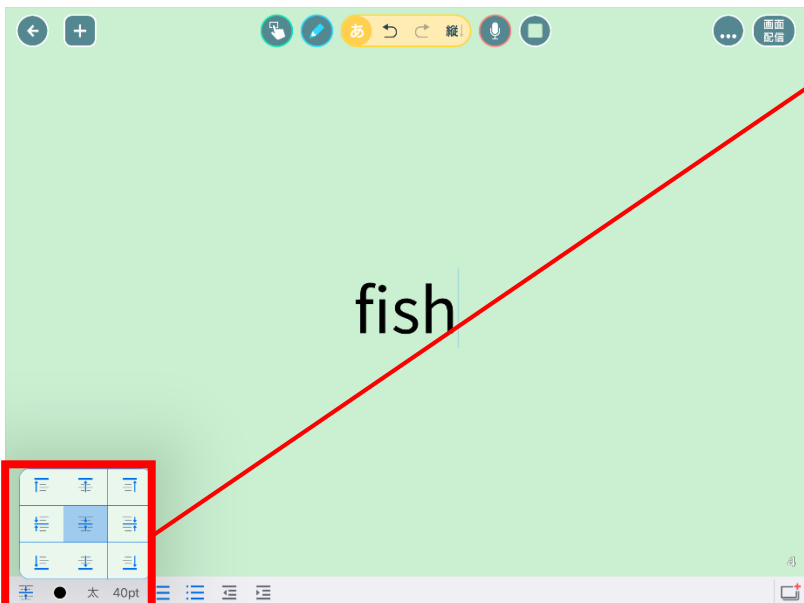
⑧カードに文字を入力するので画面上部の「あ」をタップします。



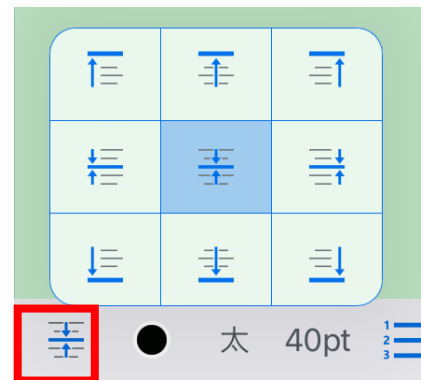
フラッシュカード⑤



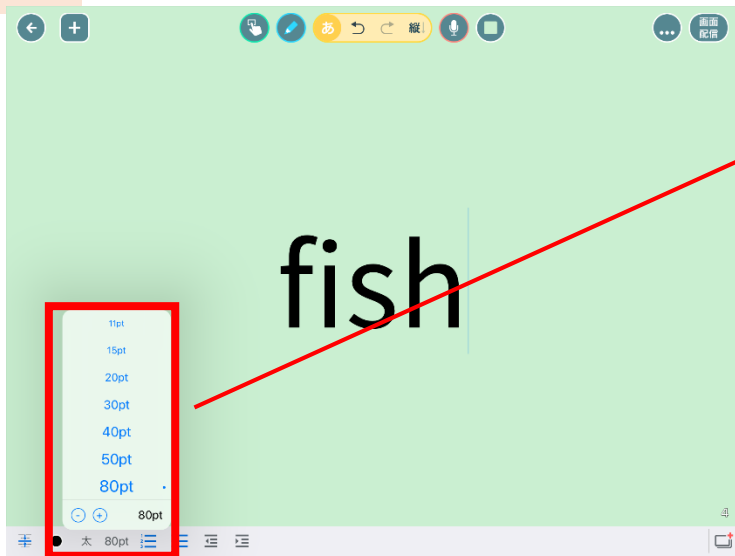
⑨ キーボードを使って文字を入力することができます。入力時は、画面の左端に表示されます。



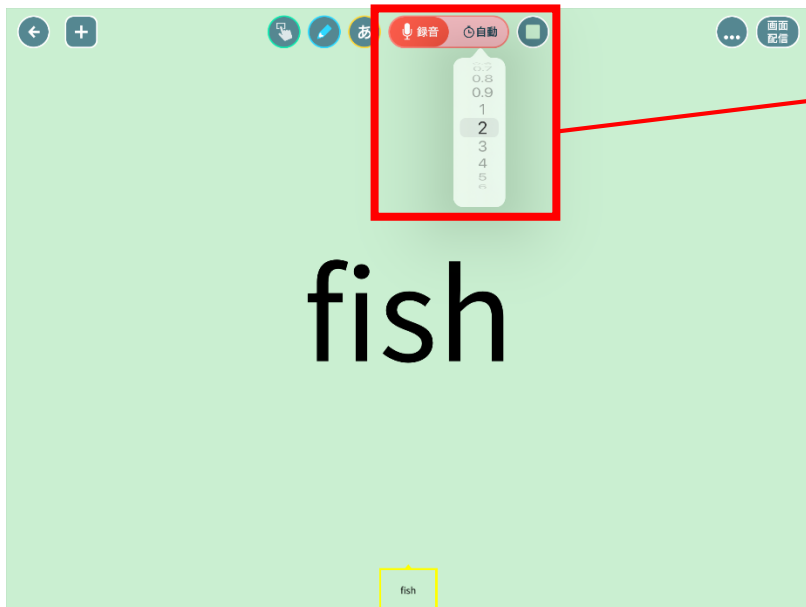
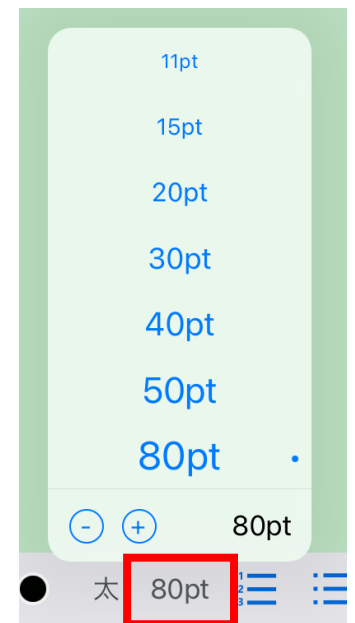
⑩ 画面左下のボタンをタップすると、文字の表示位置を変更することができます。



フラッシュカード⑥



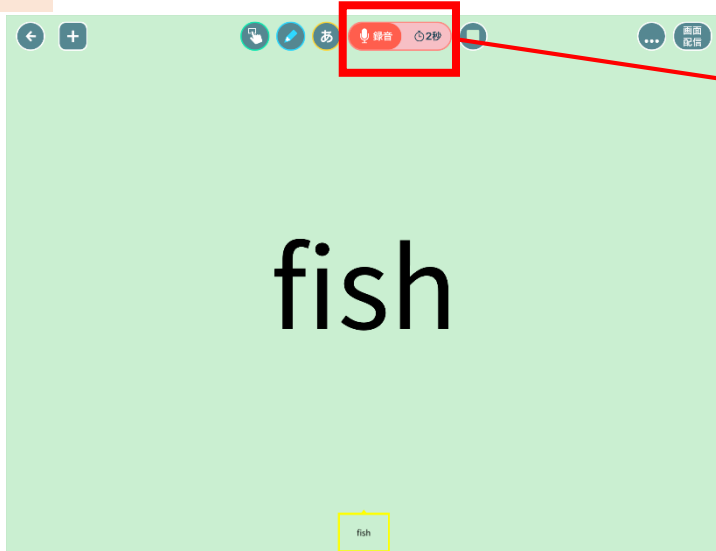
⑪文字のサイズを変更することも可能です。



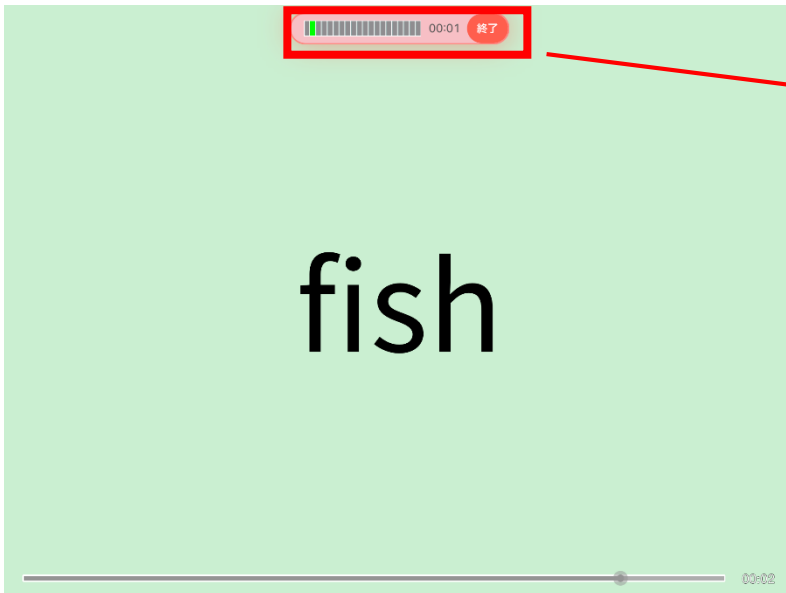
⑫イラストカードと同じように表示される時間を設定します。



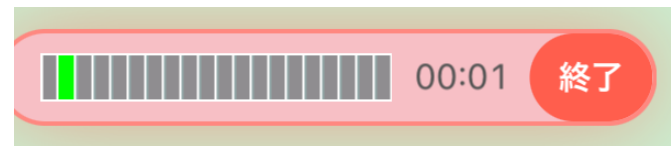
フラッシュカード⑦



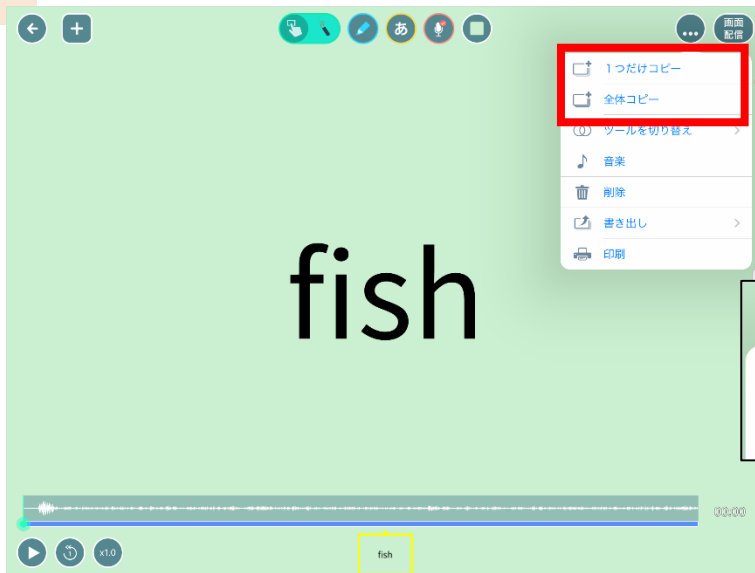
⑬カードには、音声を録音することも可能です。
下の設定だと、2秒間、音声を録音できます。



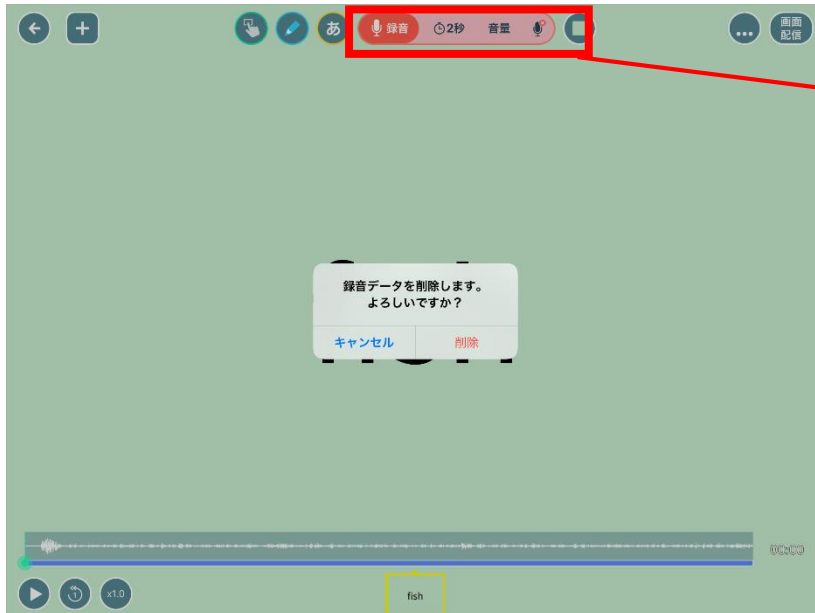
⑭「録音」ボタンを押すと録音することができます。
これで、カードが完成です。



フラッシュカード⑧



⑮複数枚、カードをつくる
ときは、カードを
コピーするとよいです。
※このカードだけ
コピーする時は、
「1つだけコピー」を
タップする



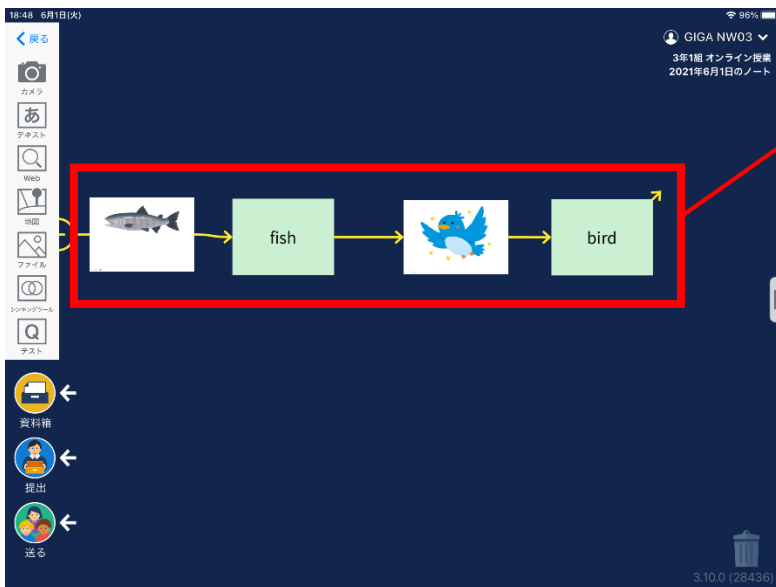
⑯音声も一緒にコピーされる
ので、画面上部のマークを
タップして、音声データを
削除します。



フラッシュカード⑨

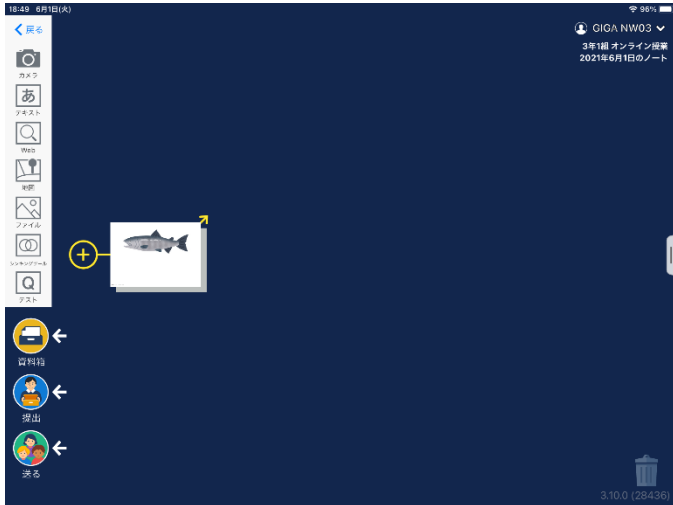


⑰ 単語を書き換えて、
音声を録音すれば
新しいカードができます。

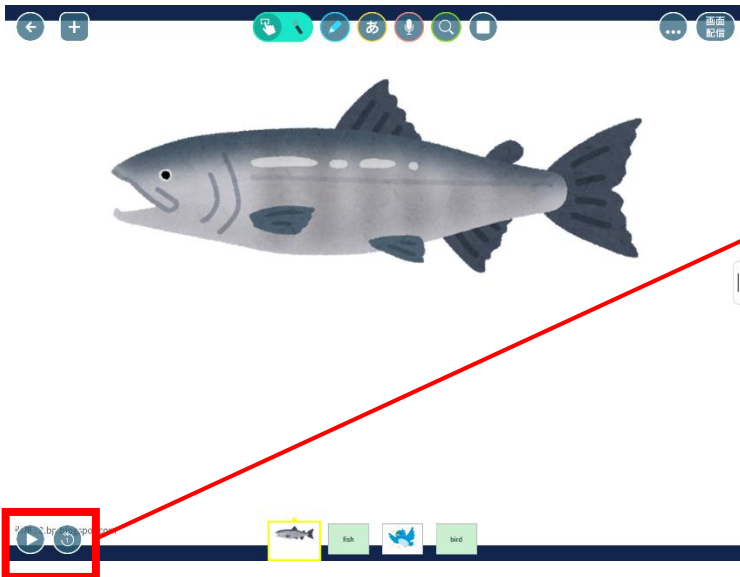


⑱ 出来上がったカードを
黄色い矢印でつなげば
フラッシュカードの完成です

フラッシュカード⑩



⑱ 児童生徒に送るときは
マイナスボタンをタップして
図のように畳んでおけば
中身が見えません。



⑳ 画面左下の矢印をタップすると
フラッシュカードがスタート
します。

フラッシュカードを出し合おう

(1) フラッシュカードを作る

- ・画像等を使って、2セット（4枚）のフラッシュカードを作ります。

(2) 問題を出し合う

- ・フラッシュカードは、先生が前で「見せる」ことが多いので、今回は送られません。
- ・4人で向かい合って、順番に披露しましょう。
- ・生徒役の方は、ちゃんと声を出しましょう！

【応用編】音読課題！



【音読を録音する】

- ①音読の文章を貼り付ける
- ②先生が自分で読んでみて目安の時間を設定する（今回は30秒）
- ③児童生徒は、読み方の工夫を記入する
- ④音読を録音する
- ⑤先生に提出する

The screenshot shows a digital reading application interface. At the top, there is a navigation bar with icons for back, home, search, and recording. The recording bar shows a microphone icon, the text '録音', and a timer set to '30秒'. Below the navigation bar, the text of the passage is displayed on a yellow background. The text is: 'こだまでしようか', '「遊ぼう」っていうと', '「遊ぼう」っていうと', '「ばか」っていうと', '「もう遊ばない」っていうと', '「遊ばない」っていうと', 'さみしくなって、', 'そして、あとで', '「ごめんね」っていうと', '「ごめんね」っていうと', 'こだまでしようか、', 'いいえ、だれでも。'. There are handwritten annotations in red: 'やさしく' is written above the first two lines, 'つよく' is written below the line '「もう遊ばない」', and a red arrow points from 'つよく' to the highlighted text '「もう遊ばない」'. At the bottom left, the author's name '金子みすゞ' is visible. At the bottom center, there is a small icon of a book.


音読課題を出し合おう

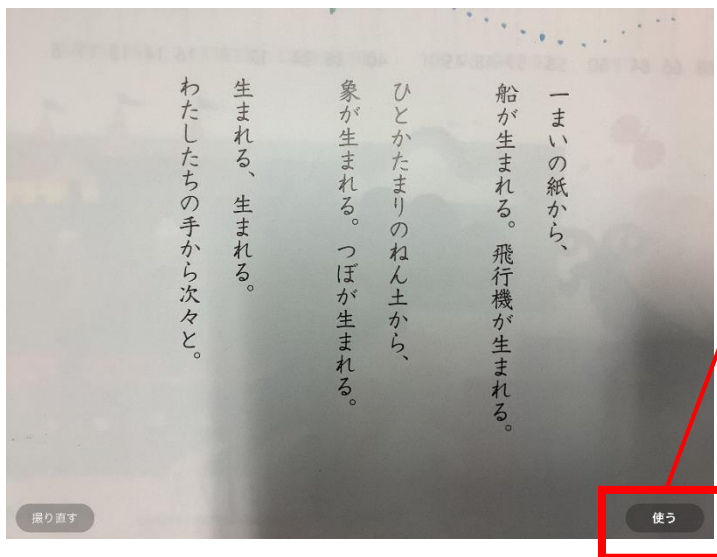
(1) 音読課題を作り、提出箱を用意する

- ・教科書の詩を写真に撮って音読課題を作る。

音読課題を作る①

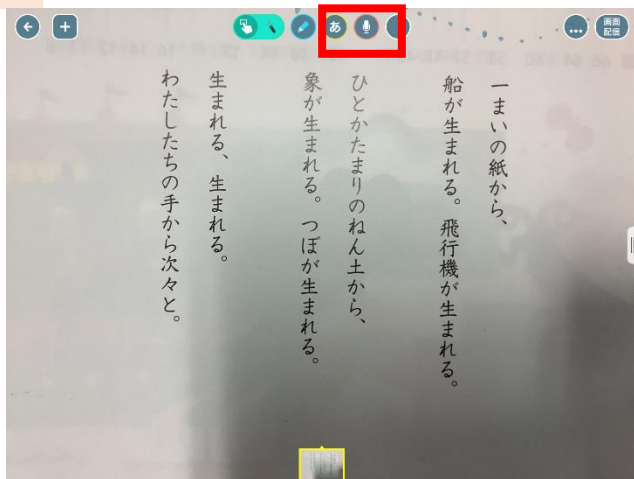



①画面左端の  をタップしてカメラを起動します。

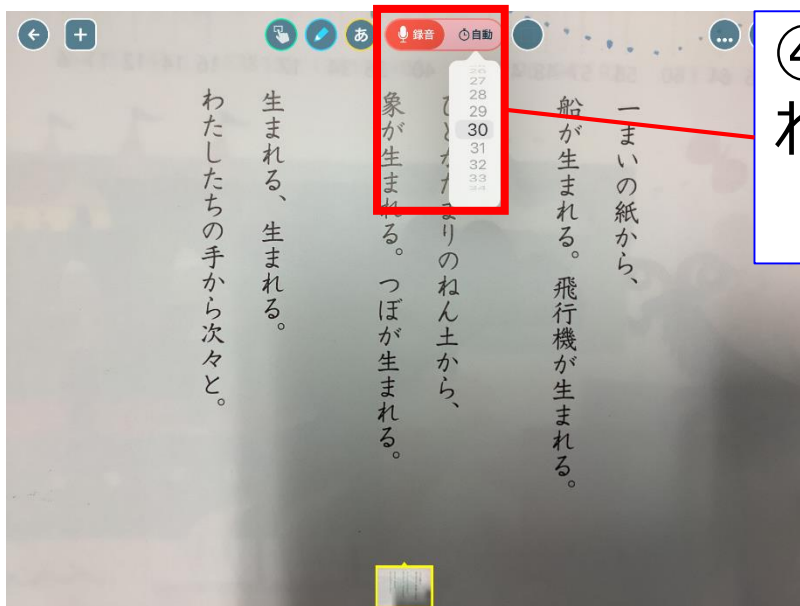


②教科書から選んだ詩を撮影して、「使う」をタップします。

音読課題を作る②



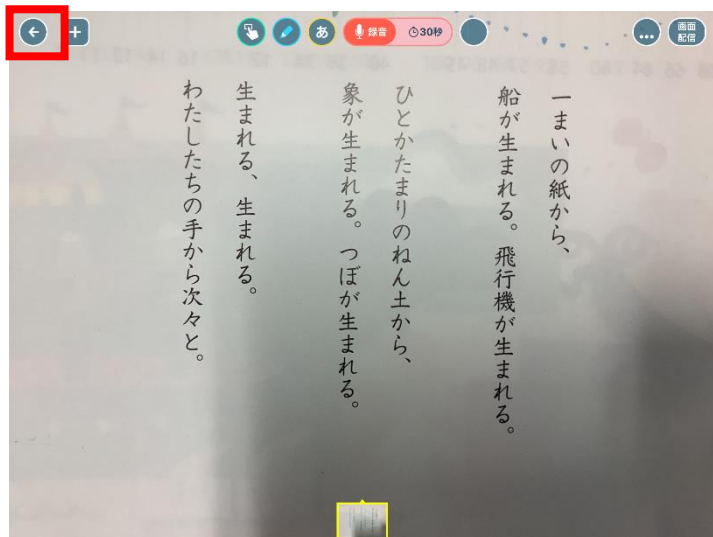
③カード上部の  をタップします。





④「この詩を読むのに適切だと思われる秒数」を設定します。
(自分で一度、読んでみましょう)



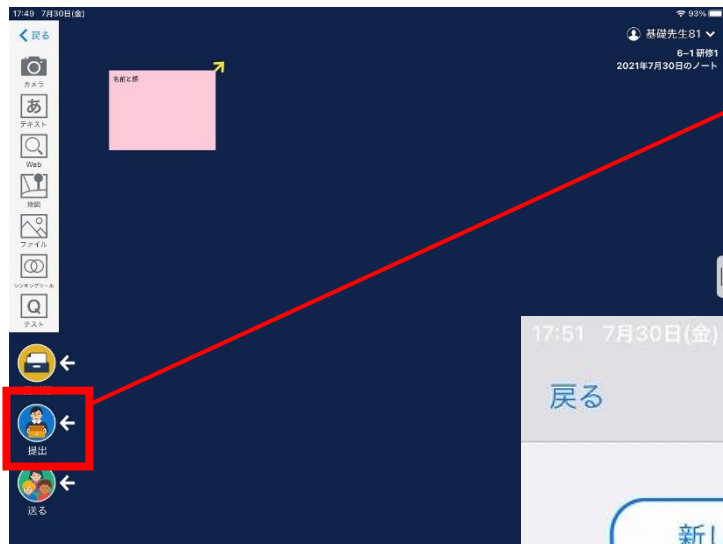
提出箱を作る①



①秒数の設定が終わったら画面左上の  をタップします。

②もとの画面に戻った後、 画面左下の「提出」をタップ

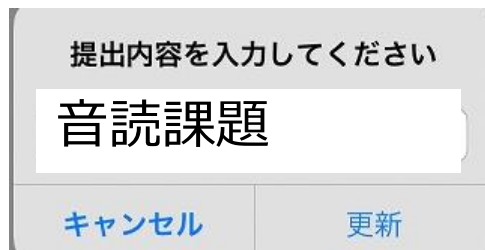
③「新しい提出箱を作る」をタップする




提出箱を作る②




④ 提出箱が表示されるので以下の2箇所をタップして変更していきます。

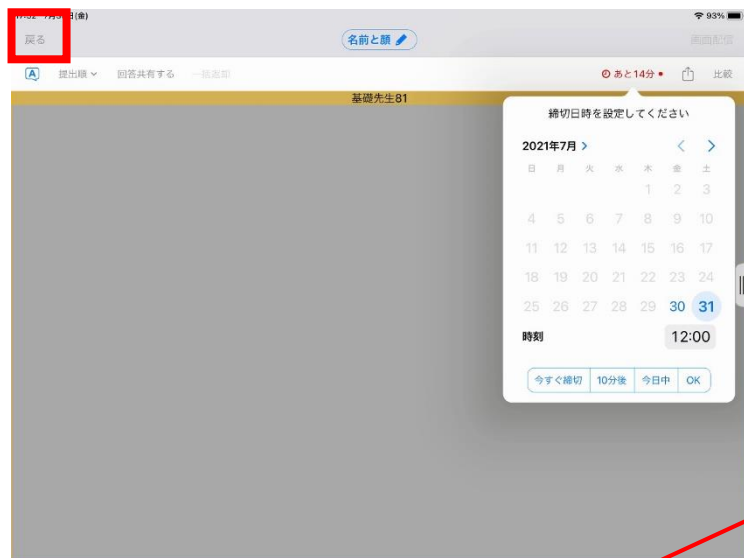


⑤  をタップし、「音読課題」と入力します

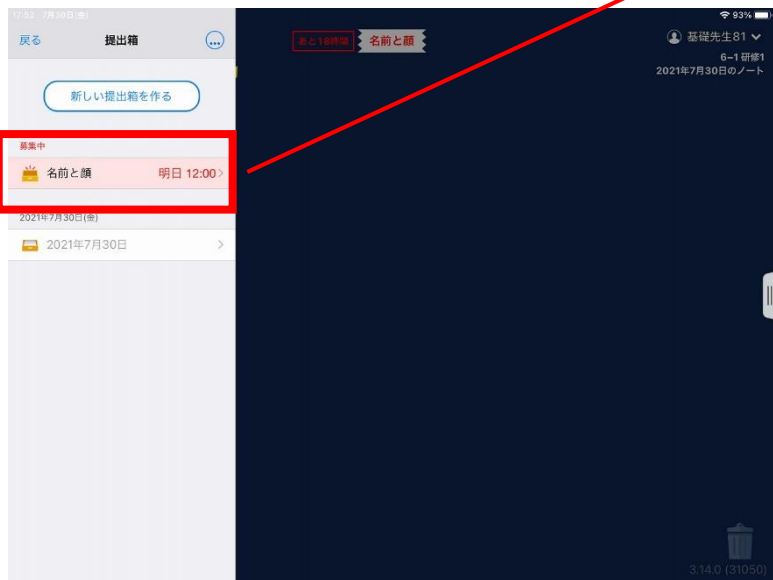


⑥  をタップし、締切日時を設定します。
※16:00までにします。

提出箱を作る③



③ 2か所を変更したら画面左上の「戻る」をタップします。



④ 提出箱に、お題である「音読課題」という箱が付け加えられました。



音読課題を出し合おう

(1) 音読課題を作り、提出箱を用意する

- ・教科書の詩を写真に撮って音読課題を作る。

(2) 先生と子どもに分かれる

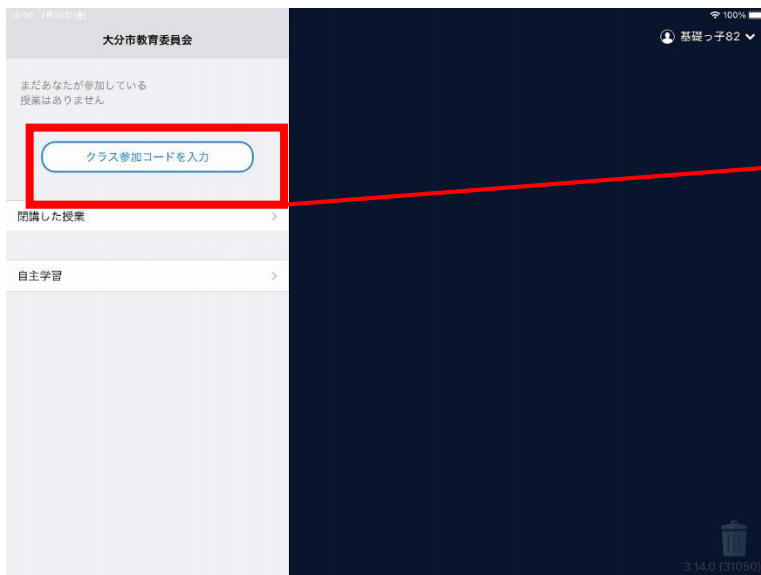
- ・1人は先生のまま、他の3人は、一度ログアウトして、子どもとしてログインしなおします。

子どもとしてログインする①



①子ども役をする人は、一度ログアウトをします。

②再度、「Royoro Schoolでログイン」をタップし、資料「3. 子どもとしてのログイン情報」を入力して、ログインします。



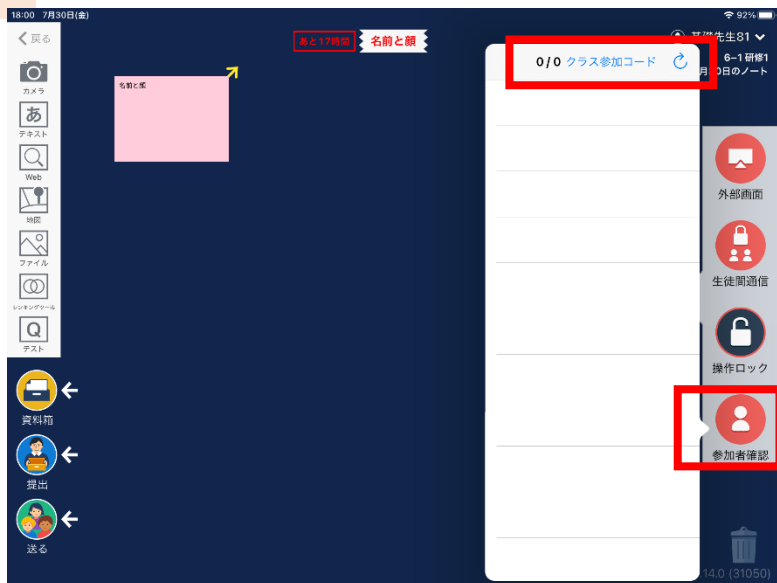
③ログイン後、画面左側の「クラス参加コードを入力」をタップします。

【クラス参加コード】

・参加コードを出せるのは、先生ですので、一度、先生役の人の画面をみんなで見ましょう。



子どもとしてログインする②



④先生役の人は、画面右端の「参加者確認」をタップし「クラス参加コード」をタップします。



⑤「クラス参加コード」が表示されるので、この番号を子ども役のメンバーに見せてください。



子どもとしてログインする③

クラス参加コードを入力してください

57574

キャンセル OK

クラス名: 6-1
このクラスに参加します。
よろしいですか?

キャンセル OK

⑥ 「クラス参加コード」を入力し、OKを押す。
クラス名を確認されるので、再度、「OK」を押します。

18:01 7月30日(金)

大分市教育委員会

6-1

研修1 募集中

クラス参加コードを入力

⑦ 「研修〇」を
タップします。

18:01 7月30日(金)

6-1
研修1

戻る

ノートを新規作成

↑
ノートを新規作成しましょう!

⑧ 「ノートを新規
作成」をタップ

ノートの名前を入力してください

2021年7月30日のノート

キャンセル 決定

⑨ ノート名は、
そのまま「決定」

音読課題を出し合おう

(1) 音読課題を作り、提出箱を用意する

- ・教科書の詩を写真に撮って音読課題を作る。

(2) 先生と子どもに分かれる

- ・1人は先生のまま、他の3人は、一度ログアウトして、子どもとしてログインしなおします。

(3) 先生役が課題のカードを送る

- ・先ほどの音読課題を全員に送ります。

先生がカードを送る

先生画面

①先生役の人は作っておいたカードを「送る」まで引っ張っていきます。



②カードの送り先を聞かれるので「全員」を選択します。

キャンセル カードの送り先を選択



クラス全員に送りました

③メッセージが表示されます

音読課題を出し合おう

(1) 音読課題を作り、提出箱を用意する

- ・教科書の詩を写真に撮って音読課題を作る。

(2) 先生と子どもに分かれる

- ・1人は先生のまま、他の3人は、一度ログアウトして、子どもとしてログインしなおします。

(3) 先生役が課題のカードを送る

- ・先ほどの音読課題を全員に送ります。

(4) 子ども役は、音読を録音し、先生に提出する

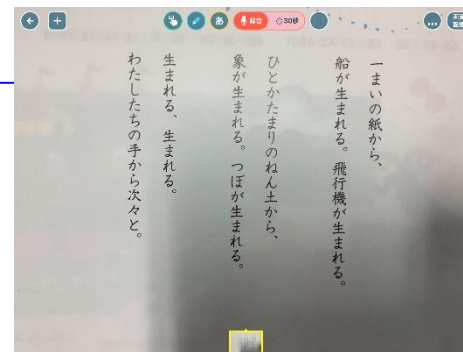
- ・カードの「録音」をタップして、録音
- ・完成したら提出箱に出す

子ども
画面

カードに録音する①

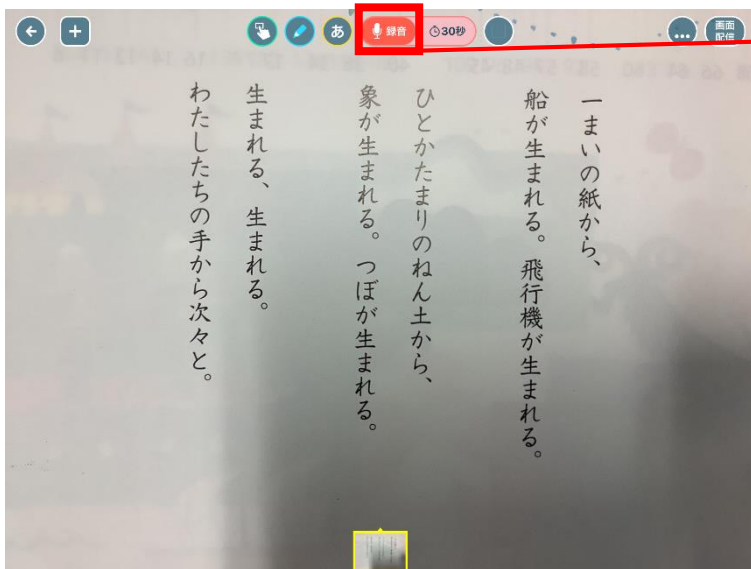


①先生から送られてきたカードを
タップします。



②画面上部の  録音  マークを
タップします。

詩を音読していきます。



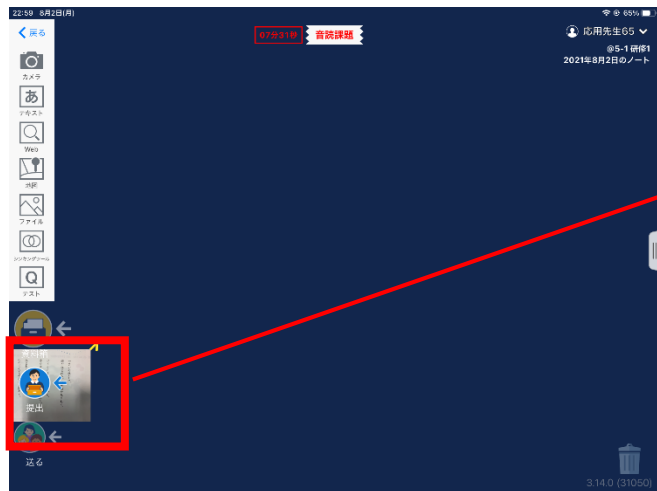
カードを録音する②

The screenshot shows a Japanese reading application interface. At the top, there is a navigation bar with icons for back, home, and search, along with a recording button labeled '録音' (Recording) and a timer showing '30秒' (30 seconds). Below the navigation bar, there is a large area of Japanese text. At the bottom, there is a playback control bar with a play button, a refresh button, and a volume icon labeled 'x1.0'. Two red boxes with arrows point to specific UI elements: one points to the back arrow icon in the top left, and the other points to the play button in the bottom left.

④よければ、左上の矢印をタップします。

③再生ボタンを押すと、自分の音読を聞くことができます。
※もう一度、「録音」を押すと撮り直しができます。

カードを提出する①



①出来上がったカードを
左下の「提出」まで
引っ張っていきます。



②「音読課題」という提出箱に
提出します。

提出されたカードを見る①



① 「提出箱」の中を見ると
提出されたカードを見ることができます。



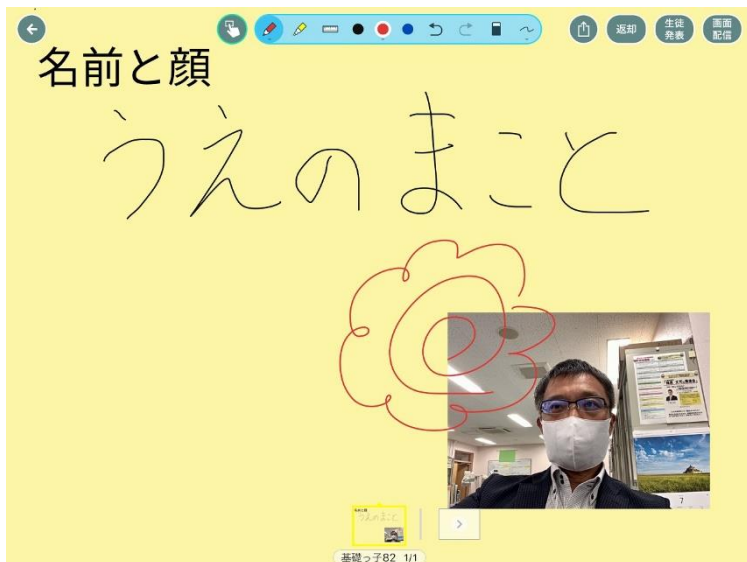
②先生は、提出されたカードを
手元で見ることができます。

【先生は、色々できる！】



- ・ 提出されたカードに対して
様々なことができます。
- ・ 次ページから見てみましょう。

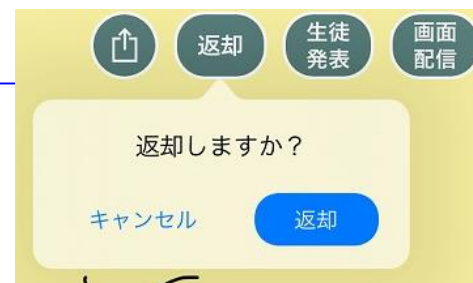
カードに丸付けをして返却する



- ① 提出されたカード一覧から特定のカードをタップすると拡大表示されて、丸付けやコメント入力が可能です。
※ペンの色を変更できます。



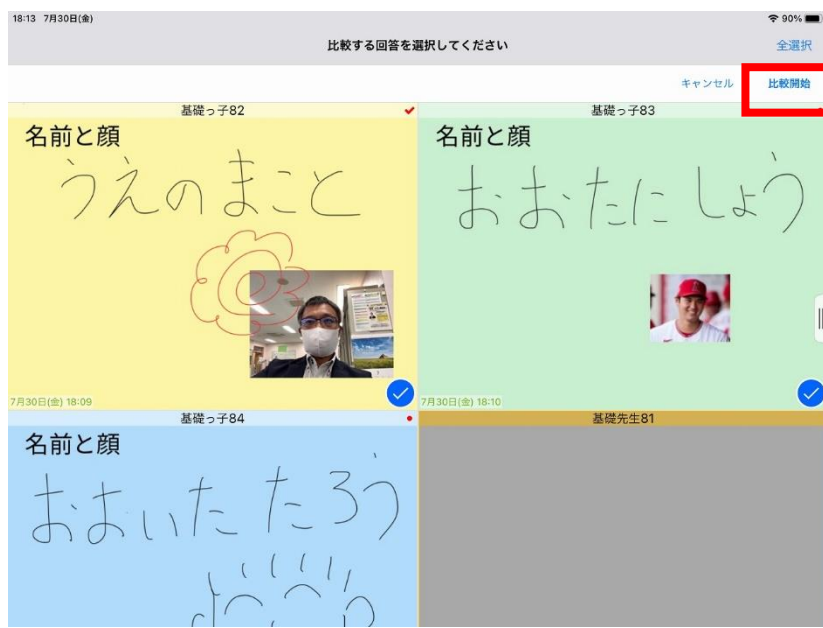
- ② 画面上部の「返却」を押すと提出した児童生徒に、丸付けしたカードを返却することができます。



任意のカードを比較する①



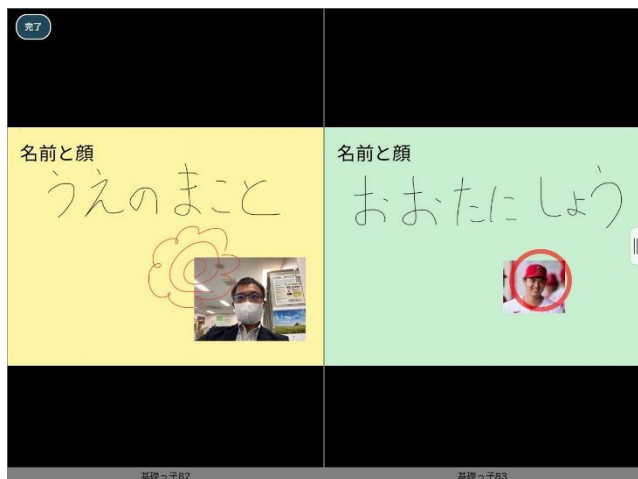
①画面右上の「比較」を押して、カードを選ぶと、カードを並べて表示することが可能です。



②比較したいカードを選択して「比較開始」をタップします

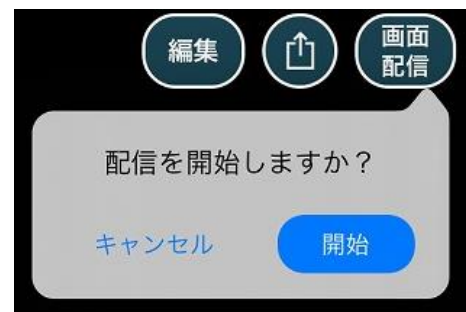
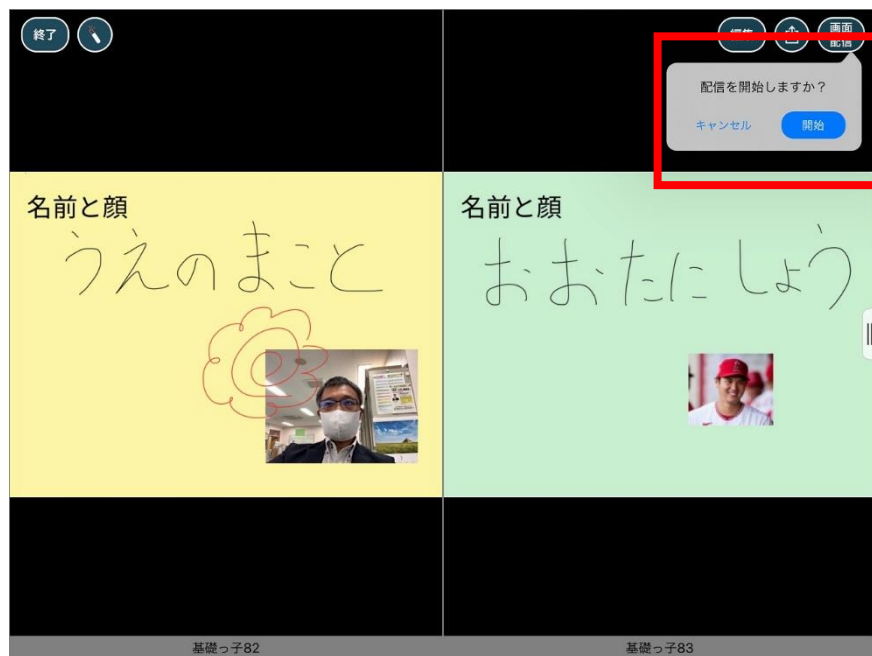


任意のカードを比較する②



③左図のように、任意のカードを比較することが可能です。

④画面右上の「画面配信」をタップすると、この画面を児童生徒のiPadに配信することが可能です。
手元で見せたい時などに使用してください。



補足資料

先生が提出箱の「**回答共有**」を有効にすると、生徒が集まった他の生徒の回答を見る事が可能です。

他の生徒の考えを参考にする場面でご利用ください。

最初は、**回答共有はオフで生徒本人の回答のみ表示**されます。

回答一覧から、回答共有をオンにします。

回答共有をオフにするには、「回答共有中」のボタンを押します。

【共有前の児童生徒画面】



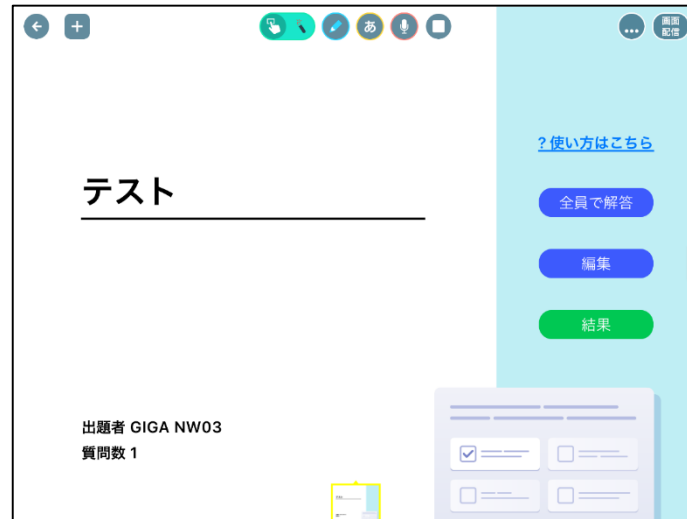
【共有後の児童生徒画面】



先生役を交代してみよう！

- 画面共有まで終わったら、先生役を交代します。
- 「先生役をしていた人」
→ ログアウトして、子どもとしてログイン
- 2番目に番号が少ない人は、子ども役を
ログアウトして、先生役としてログインする
- 「先生が課題カードを送る」
→ 「子ども役が音読を録音する」
→ 「提出する」ということを繰り返します

テスト



ロイロノートを使うと、
自動採点や集計が簡単にできる
テストを作ることができます。



テストに使用する画像を準備する

① ネット上のフリー素材をダウンロードして、keynoteに貼り付ける

【keynoteを使って】

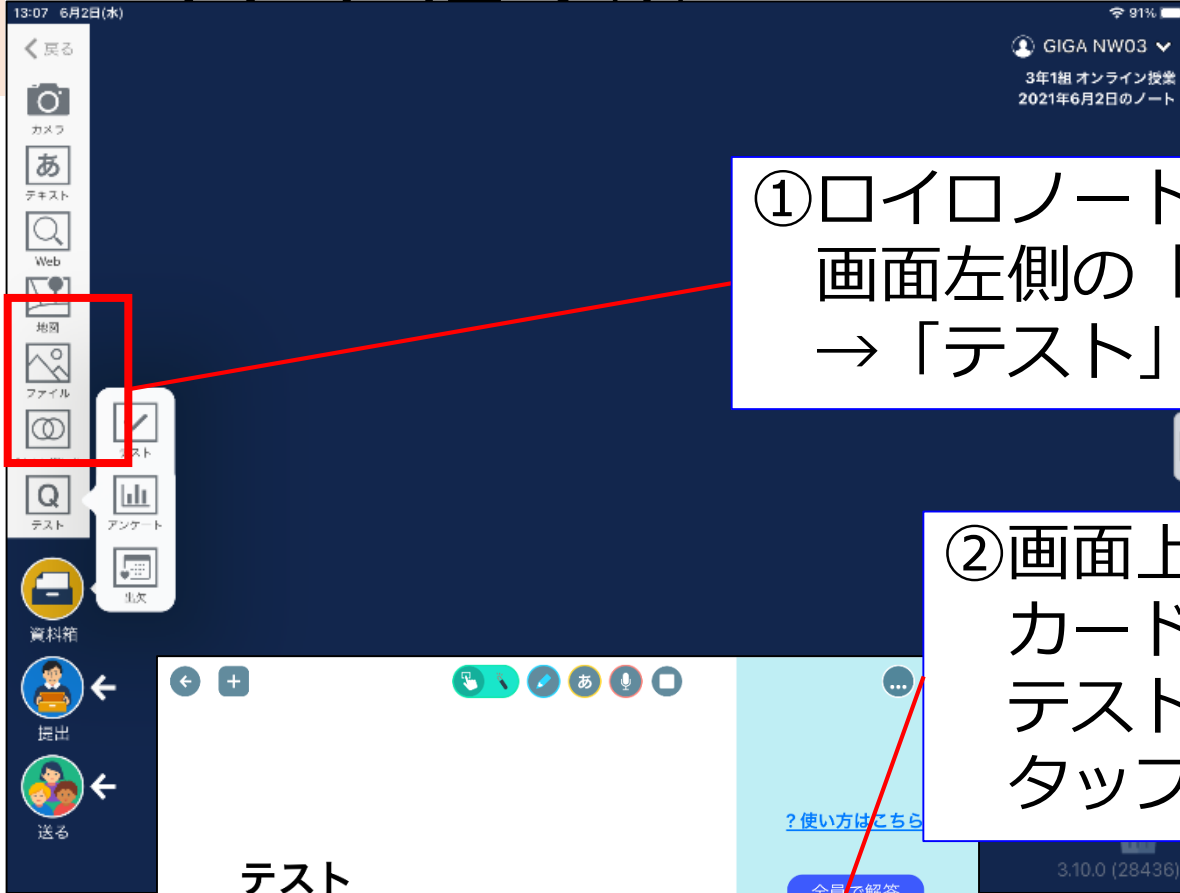
・ 都道府県に関する問題に使用する画像をkeynoteで作成します。



② 必要な情報を書き込む



③ スクリーンショットを撮って、準備完了



①ロイロノートを起動し、画面左側の「テスト」→「テスト」をタップ

②画面上に出てきたテストカードをタップ。テスト画面の「編集」をタップします。



テストを作る②

③ タイトルを入力する

都道府県テスト

④ 「自動採点」にチェック
(自由記述の時以外)

回答者名

作成者のみ表示

集計結果

作成者と先生のみ表示

自動採点

ON

OFF

...

1 問題を入力

単一選択

複数選択

自由記述

回答必須

回答者に選択肢追加を許可

✔ 選択肢 1

✔ 選択肢 2

✔ 選択肢 3


✔ 選択肢 4

+ 選択肢を追加する

解説 

解説を追加すると回答後の復習に役立ちます

⑤ 問題を入力
します。

⑥ 問題文に画像を
貼り付けるので、
 マークを
タップします。

テストを作る③



⑦ 「フォトライブラリ」を選択します。



⑧ スクリーンショットしておいた画像を選びます。

テストを作る④

⑩問題文を入力
します

⑨写真が入った
ことを確認し
ます。

山形県はどこでしょう？

単一選択 複数選択 自由記述 回答必須 回答者に選択肢追加を許可



⑪選択肢を入力し
正解にチェックを
チェックをつけます。
※例では5が正解


- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

+ 選択肢を追加する

解説



テストを作る⑥

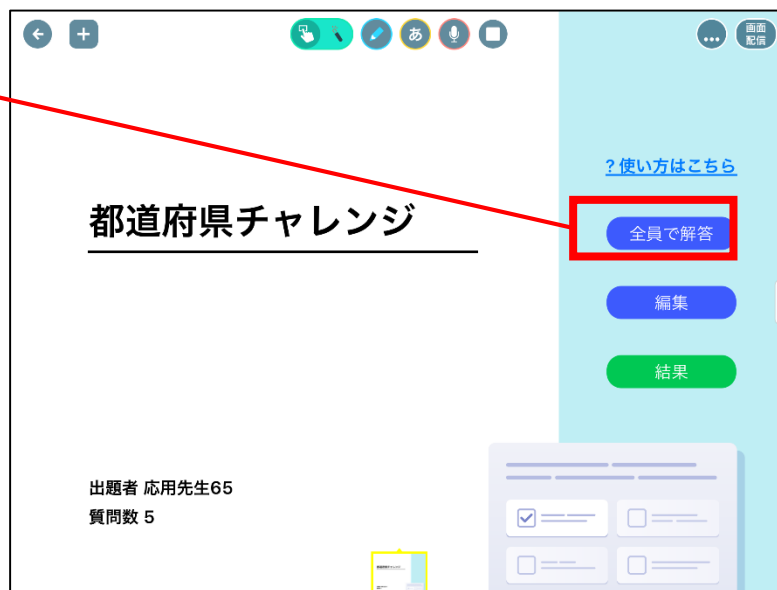
⑫ 全部の問題を作成したら、画面上部の  をタップします。



⑬ 問題の表紙に戻ります。その場で、問題を解かせる場合は、「全員で回答」を押します。

※テストが児童生徒画面に表示されます

全員で解答



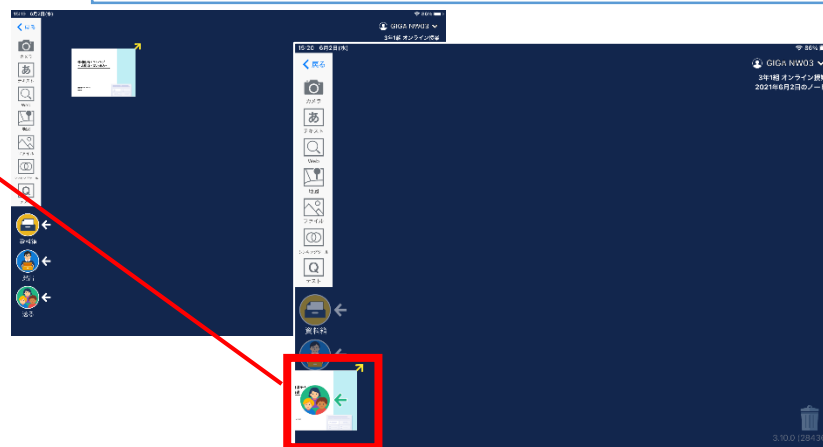
テストを送る①



【自分のタイミングで】

- ・テストを送っておくと、児童生徒が自分のタイミングで解くことができます。

①完成したテストが、ノートに表示されているので、「送る」までドラッグします。



②カードの送り先を選びます。
クラス全員に送る時は
「全員」を選択します。

キャンセル

カードの送り先を選択



全員



個人

回答を確認する

児童生徒は、回答を終えると
解説が見られるようになります。
※テストは1度しか解けません。

×

都道府県チャレンジ
～北海道・東北地方～

✓ 5 71%
正解 不正解 正解率

✗ 【1】 山形県はどこでしょう？ *

北海道・東北地方



1

2

✓

テストを作って、出し合おう！



都道府県テストを参考に
自分でテストを作って
みましょう！

4人全員が作り終わったら
「音読課題」と同じ手順で
問題を出し合います。
(先生役を交代する)